

(件名)

「アジア地域気象情報強化のための管理者セミナー」参加者の本県防災対策の視察

(要旨)

気象庁が開催した「アジア地域気象情報強化のための管理者セミナー」の一環として、セミナー参加者が本県の防災対策の現状を視察し、意見交換を行った。

(本県訪問概要)

1 日時 平成22年2月5日(金) 10:30~12:00

2 参加者名簿

(1) 「アジア地域気象情報強化のための管理者セミナー」参加者

氏名	性別	所属等
Ausetalia TITIMAEA(ティティマエア)※	男	サモア気象庁長官
Arjumand HABIB(ハビブ)	女	バングラデシュ気象庁長官
Erdenebat ELDEV-OCHIR(エルデネバット)	男	モンゴル気象環境監視庁国際協力課長
Singthong PATHOUMMADY(パトゥツマディー)	男	ラオス気象局気象通信・地震監視課長
信太 邦之(しだくにゆき)	男	世界気象機関 地域計画・技術協力部 計画管理官

※視察団団長

(2) 随行者

気象庁：佐々木 参事官、長谷川 国際室長、和志武 国際室国際第2係員

(3) 静岡県

危機管理局：小林 危機管理監、渡邊 危機管理監代理兼理事、
小川 危機管理監代理兼次長、岩田 危機報道監兼危機情報室長、
彦山 専門監、八木 主査

3 懇談内容

小林危機管理監から静岡県の東海地震対策について説明を行った。団長であるサモア気象庁長官のAusetalia TITIMAEA(ティティマエア)氏をはじめ、参加者からは、各国の現状を踏まえた多くの質問や本県との今後の交流の希望も表明されるなど活発な質疑応答がなされた。

今後、アジア諸国に対する防災対策についての日本及び本県への期待が寄せられた。



写真1 小林危機管理監挨拶



写真2 集合写真